



雨天時の運転に注意しましょう！

5月8日午後8時20分頃、宮崎市大字島之内の県道で軽乗用車が電柱に衝突する交通事故が発生し、軽乗用車を運転していた**80歳代男性**が亡くなりました。現場は片側1車線の直線道路で、**雨が降っていました**。

雨の日の運転は、晴れた日の運転と異なり、

- ・ **ブレーキが効きにくく、停止距離が長くなる**
- ・ **ハンドルやブレーキの誤った操作でスリップしやすい**
- ・ **車外との温度差でフロントガラスが曇りやすく視界が悪くなる**

などを踏まえて運転しなければなりません。



ハイドロプレーニング現象

高速走行すると、タイヤと路面の間に水膜ができることで浮いた状態になり、ハンドルやブレーキがコントロールできなくなる。

対処法

- ハンドルをしっかりと握る
- ブレーキは踏まない
- エンジンブレーキでスピードを落とす

グレア（蒸発）現象

夜間、対向車のライトに照らされ、道路横断中の歩行者や自転車が見えなくなる現象で、雨の日は特にライトが乱反射して見えづらくなる。

対処法

- スピードを落として運転する
- 前をしっかりと見る

雨天時の注意点

- タイヤ、ワイパー、エアコンを**点検・整備**する
- 前の車と十分な**車間距離**をとる
- カーブのある場所、横断歩道などの道路標示や金属製のマンホール等、すべりやすい場所では**急ブレーキ**をしない
- 水たまりでの**泥はね**運転をしない
- 自転車や歩行者の**動き**に十分注意する

アンダーパスなど道路が冠水した場所は、エンジンの故障で立ち往生してしまい大変危険です。絶対に通行しないでください！

毎月10日は「県民交通安全の日」

地域の交通事故情勢に応じた活動を行う日です。地域や職場、学校、家庭等で交通安全活動に取り組みましょう。